

## 道徳文化教育部会 令和5年度予算概算

令和4年11月19日 提出  
委員長 大原光泰（日本示道塾）

### 【使命】

1. 日本自治集団の大義に則り、その中核的価値を志向するための啓発活動を推進する
2. 将来的に外部組織・社会に強い示唆を与えるコンテンツへと発展させることにより当集団の目的を追求する

### 【中期目標】

参画団体の交流型学習会を設けることにより、それぞれが教育母体となることを目指す

- 農業団体：農を通じた教育及び自己啓発のできる体制へと向かう
- 経済団体：和の経営、即ち道徳倫理観に基づく事業活動を追求する人財を育成する

### 【学習会の要諦】

1. 集団が「目的を共有する有機的組織」となるうえで、まず考え方（視点・視野・志坐）を確かめ止揚を図る
2. 抽象度の高い概念（使命、幸福、道徳等）に基づいて異見交換する対話の場を展開。テーマは生成繁栄社会を実現するうえで有用な内容とする
3. 人財育成、風土醸成を担う者が集い、自社に展開し得る内容を考慮する

### 【活動内容】

3か月に2回程度のペースで午後～夕刻までの学習会を開催、終了後は座談会を設けて学習の省察を通じて交流を深くする

【令和5年度予算案】

※将来的にはシンポジウム等の広告宣伝部会と連動する事業（特別予算が必要）が含まれるが、当部会単独の集団内学習会開催予算は独立採算を原則とする

一般予算

収入

参画費	3千円/1名・回	×13名	×8回/年
本部予算	0円		
小計	31万2千円/年		

支出

会場費（駅前公共施設を想定）	3.3万円/回
資料印刷費等の雑費	3千円/回
事務局経費 旅費等実費	2万円/回
積立金（特別予算へ組み入れ）	8千円
小計	31万2千円/年（年間8回開催）
※参画者の旅宿座談会参画費は各自負担とする	

特別予算（令和6年度以降に見込まれる活動）

- ・外部者を誘致する年1回程度のシンポジウム
- ・外部招聘講師費用
- ・出版物・映像製作費 など

以上